

2025
YAMAGATA

紅の花



2025年元旦 初詣



朝陽

新春

2025年 新年のごあいさつ



会長 高橋 啓子

新年あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
さて、国内外において不安定な情勢が続いている中、日本は人口減少時代に突入し、私たち看護職を取り巻く環境も目まぐるしく変化し、発想の転換や看護の在り方の見直しが求められています。

去年は元日に起きた能登半島の地震、7月の庄内最上地域の豪雨等大きな災害が続き、甚大な被害に心が痛む思いでした。また一方で、11月には第二次石破政権が発足し、看護職国会議員であるあべ俊子衆議院議員は文部科学大臣、友納りお参議院議員は内閣府大臣政務官に就かれ大変心強く思っております。

今年の干支は乙(きのと)巳(み)となります。乙巳の年は「これまでの努力や準備が実を結び始める時期」と言われており、歴史上では「大化の改新」の始まった年であります。山形県看護連盟としても、これまでの活動が実を結ぶよう皆様の声を国政に届け、山形県看護協会と山形県看護連盟は役割を分担し、協働しながら前進していきたいと思っております。

最後に皆さまのご健勝を祈念し年頭の挨拶といたします。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



2025年も
よろしく
お願いします。



CONTENTS

P1 会長新年のごあいさつ

P2 新春のごあいさつ

P4 石田まさひろ参議院議員特集
・プロフィール
・これまでの実績
・2025看護の課題

P6 活動報告
・日本看護連盟主催
・北海道・東北ブロック関連
・山形県看護連盟主催
・支部研修

P7 青年部だより

P8 トピックス
入会募集
今後の予定



日本看護連盟 会長
高原 静子

新年、明けましておめでとうございます。
皆様に心より新春のお慶びを申し上げます。
昨年は、年明け早々能登地震、そして日向灘地震、豪雨災害など、自然災害の多い年でした。どんな時も人々のいのちとくらしを守るために活動する看護職、地域社会で医療チームの一員として力を尽くしておられる看護職の皆様に深く敬意を表します。
2040年を見据えた新たな地域医療構想は、地域の医療提供体制全体の構想として検討が進められています。
日本看護連盟は、都道府県看護連盟・看護協会、看護職国会議員と力を合わせ、看護職一人ひとりがその力を十分に発揮できる働きやすい職場環境の確保、処遇改善等に取り組んでまいります。
今年「乙巳(きのとみ)の年です。「乙巳」の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。
本年が皆様にとって、健康で実りの多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。
今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



あらたな価値を生み出す 1年に！

公益社団法人山形県看護協会 会長
若月 裕子

新年明けましておめでとうございます。
日頃より、当協会事業推進に向け、ご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。
山形県看護協会は日本看護協会と連携し、①看護の質向上 ②看護職が働き続けられる環境づくり ③看護領域の開発・展開に向け、取り組んでおります。
少子高齢化、人口減少が激化する今、看護職の確保等多くの課題があります。看護職が抱えるさまざまな問題の中には、政治的手段によってしか解決できない問題も多くあります。そのため、看護職の代表を国政に送り、看護協会の目指す看護政策や意見を反映させ、解決していくことが重要です。
看護政策を達成するため、看護連盟の活動を推進してまいります。山形県看護協会、山形県看護連盟、共に組織力を高め、山形県内の看護職が誇りを持って働き続けられるよう、皆さまと対話しながら活動したいと思ひます。
今年「巳年、今までの基盤をさらに発展させ、あらたな価値を生み出す1年にしていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新春のごあいさつ



衆議院議員
あべ 俊子

新年あけましておめでとうございます。今年も新しい年を迎えることができたこと、大変喜ばしく思います。

前回の衆議院総選挙では厳しいご審判をいただいた中、あべは第二次石破内閣において再度、文部科学大臣を拝命し、これまでに「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応や不登校の課題、看護教育のあり方、地域に残る人材育成などに取り組むことができました。みなさまからのご支援とご指導に心から感謝申し上げます。

看護は、命を慈しみ、大切な人を護るための知識と技術が学べる素晴らしい仕事であると、次世代に胸を張って伝えられるよう看護職の地位向上や環境改善に皆様と共に全力で取り組んで参ります。



参議院議員
石田 まさひろ

山形県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

山形県内の各地をご訪問させていただき、多くの皆様からお話を伺いました。現場では、看護記録の多さに対する業務負担や診療報酬改定による病院経営への影響等、課題が山積しています。働き方改革が進み、夜勤免除等の子育てしやすい環境が整備され、離職者が少なくなった一方で、夜勤職員が不足して病床縮小の検討を余儀なくされた病院等もでてきています。刻々と変化する現場課題を伺う中、人口減少時代に突入した今、「量を守り、質を追求する」ための看護政策の必要性を強く感じました。新しい年を迎え、地域の医療を守り抜き、時代に即した看護政策実現のため、更なる邁進を決意し、心を新たにしています。

国会においては、予算委員会委員と厚生労働委員会委員、参議院自民党国会対策委員会副委員長を拝命しました。医療・介護への更なる支援を得られるよう、令和7年度予算の成立や厚生労働政策の実現に向け、尽力して参ります。

本年も看護連盟・看護協会と連携しながら、寄せられたご意見等、国政の場に繋げて参ります。引き続き、国政の場で活動するため、皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。



参議院議員
友納 りお

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。この新しい年を、内閣府大臣政務官という新たな職務をいただき迎えています。

弁護士は司法、国会議員は立法、政務官は行政に携わるお仕事です。看護職の働く環境を整え、安心して働いていただくために、あらゆる立場でかかわることができることは大変嬉しいことです。政務官としての仕事は、国会議員として作り上げた政策や法律を、今度は実行する立場になります。法律に基づく制度や法律が皆さまのもとに行き渡るように、適切にPDCAサイクルを回しながらより良いものとなるように取り組んでまいります。

看護職の処遇改善、人材確保、働く環境整備、ハラスメント、業務効率化などの看護・医療に関する諸問題には、引き続き、石田まさひろ先生と力を合わせて取り組みます。

看護の現場の声を国政に！初心を忘れず目の前の課題に1つ1つ丁寧に向き合います。本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。



誇りと自信を持って

山形県看護推進議員連盟 会長
渋間 佳寿美

看護職の皆様におかれましては、常日頃より、県民の福祉向上のためご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

「常日頃」と申し上げました。平時より大事な看護職の皆様です。ただ、昨今は有事ともいえる状況のようです。

能登半島地震や本県の庄内・最上を中心とした7月の豪雨災害など、続発する自然災害があります。2025年問題いわゆる「団塊の世代」800万人全員が75歳以上、つまり超高齢社会による問題が発生します。

自然災害や超高齢社会など有事は特に、看護職は必要不可欠な存在なのです。

平時であれ何どきであれ、看護職は重要な存在であることは、県民・国民が理解していることです。

その理解に基づいた政策の展開が必要です。給与や労働環境の改善を行い、人材の確保と定着を目指すことが不可欠で、われわれ看護推進議員連盟が機会をとらえて、国や県・関係機関に訴えていきます。

どうか皆さま方におかれましては、自らの看護職に誇りと自信をもって、一緒になって現場の声を届けていきましょう。

プロフィール

1967年5月20日、奈良県大和郡山市生まれ
兵庫県甲陽学院高等学校、東京大学医学部保健学科卒（大学在学中は応援部）
卒業後、当時ほとんどいなかった男性看護師として聖路加国際病院内科病棟、
東京武蔵野病院にて勤務
日本看護協会で政策企画室長
日本看護連盟で幹事長を歴任
2013年、参議院議員初当選（全国比例）、現在2期目

趣味

金魚・神社巡り



上杉神社にも行きました



厚生労働委員会にて質問



予算委員会にて質問



現場の声を国会に
石田まさひろ議員
これまでの実績

処遇改善

- 看護職員処遇改善評価科の新設、診療報酬等の充実
- 「国家公務員医療職棒給表(三)級別標準勤務表」の31年ぶりの改正
- 看護職員・看護補助者夜勤加算

基本指針の改定

- 「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」の31年振り改定

在宅ケアの体制整備

- 厚生労働省に「訪問看護推進室」を新設

診療報酬の項目新設

- 認知症ケア加算
- 外来感染対策向上加算
- 二次性骨折予防継続管理料
- 術後疼痛管理チーム加算

これらの実績は
「現場の声」から
生まれました!!

青年部活動の支援
(山形版)



注目！ 2025 看護の課題

「量を守り、質を追求する」ための 7つのポイント

「石田まさひろ」議員は、2024年7月～10月、全国500以上の施設を訪問。そのうえで、人口減少時代に突入し、深刻な状況にある地域医療を持続可能にするためには「価値観の大転換が必要であり、看護の在り方を見つめ直す時」「看護の課題は『量を守り、質を追求する』、看護の未来と発展のための7つのポイント」を挙げています。



1 ナースセンターの機能充実

- ・医療職で唯一看護が持つ「人材確保のための公的制度」のナースセンターを活用する
- ・ナースセンターが直接雇用し過疎地へ派遣等の機能の見直し・拡充やユーザー目線でのシステムの変更が必要

2 看護職の業務の整理と効率化

- ・この30年で看護職の数は倍以上に増えたが、ベッドサイドケアの時間が減少してはいないか
- ・「記録類は、最低限何が必要か」という視点への転換を

3 看護職の働き方の抜本的な見直し

- ・働き方の見直しには業務を整理したうえで、優先順位を決めていくことが大切
- ・「緊急ではないが重要な業務」は後回しにされていないか

4 科学技術を活用した看護の革新的な向上

- ・AIや先端技術の活用で、観察やアセスメント力を高める開発が必要
- ・技術活用のため感度を高くしてチャレンジする

5 医師不在地域での看護師の活用拡大

- ・資格を持つ看護師が医師の行為の一部担うことは国民にとって必要な制度ということをアピール

6 地域の生活を支える多機能看護体制の構築

- ・「病棟のナースステーションを地域に置く」という考え方
- ・地域の訪問看護ステーションに色々な人が集まる仕組みづくりから、地域の生活を支える新しい看護体制づくりへ

7 卒前・卒後の教育の連動と生涯教育の充実

- ・病院側に教育機能を持たせて卒前・卒後の教育、技術習得やクリニカルラダーを全国共通にして、看護職の成長を促す等、教育プログラムの見直しは必要ないか
- ・柔軟で自由な学び合いの場をつくり、生涯を通じた学びを支えることが大切



※詳しい内容は、
日本看護連盟機関誌N∞{アンフィニ} 2024 秋冬号
「巻頭対談」をお読みください。

県内多くの
施設を訪問

「YouTube
田まさひろ動画」を
検索してみよう！！

活動報告

日本看護連盟主催

「県別会議」 12月7日(土) AM
〈日本看護連盟オンライン〉

目的 看護協会と看護連盟が連携し、看護連盟の政治力・政策実現力の強化に向けて課題解決を図る

参加者 日本看護連盟…近藤幹事長、福田常任幹事
山形県看護連盟…役員・顧問・支部長・支部役員・施設連絡員・部署連絡員・青年部委員
オブザーバー参加：山形県看護協会…若月会長、後藤常任理事、菅野常任理事



県別会議

「県別会議」は、毎年1回開催され、日本看護連盟より課題が提示され、課題に沿って、日本看護連盟の役員と参加者がディスカッションをします。参加者にとって貴重な学びの機会となりました。

合同会議



北海道・東北ブロック関連

「ブロック別政策セミナー」9月13・14日(金・土)〈秋田県〉

目的 日本看護連盟の組織強化・拡大に向けて連盟活動の推進力を高める。

参加者 県内看護管理者…狩野山形済生病院副看護部長、安彦東北中央病院看護師長
山形県看護協会…若月会長
山形県看護連盟…高橋会長、川窪副会長

参加者は、日本看護協会の重点政策、重点事業をもとに、政策実現に向けた活動についてグループワークを行いました。

「ブロック別看護連盟・看護協会合同会議」10月3・4日(木・金)〈宮城県〉

目的 看護連盟と看護協会との連携を充実させる。

参加者 山形県看護協会…若月会長、後藤常任理事
山形県看護連盟…高橋会長、大竹幹事長

昨年度より実施されている会議で、各道県の連盟と協会の連携の進捗状況を共有し、更なる連盟強化に向けて話し合いました。

「青年部ブロックミーティング」11月16日(土)〈オンライン〉

テーマ 「私たちの想い、看護職に届け！ —広報・発信力の強化—」

参加者 飯野委員長、古澤委員

シンポジウム「石田さんの魅力を語ろう」、研修「無料のスマホアプリを活用したショート動画制作方法」があり、大変有意義でした。



青年部ブロックミーティング

山形県看護連盟主催

「会員セミナー」9月28日(土) PM

目的 仲間づくりに役立つコミュニケーション技術

参加者 34人

「日々の生活や職場で活かせる」「コミュニケーションは信頼関係から始まる」等好評で、演習があり楽しく学びました。



みんなで演習

「オンライン：会員セミナー」

7月2回、10月1回、11月1回、会議・委員会・支部で開催

内容 「看護連盟活動を知ろう！」

参加者 延べ220人

今年度は、伊藤顧問を講師に、基礎編と続基礎編のMIXで開催。延べ220人、会員の4分の1が受講しました。

支部研修

「置賜3支部合同研修」9月28日(土) PM

内容 講演「看護管理者として、挑戦し続けることとは」

参加者 40人

看護管理者を対象に、置賜地域看護管理者会の協賛で開催。遊佐病院の信夫看護部長を講師に、管理経験に基づいた講演と意見交換を行いました。

「村山第1・第2合同研修」11月15日(金)
18:15 ~ 20:25

内容 1. クリスマスリースを作ろう
2. 看護連盟活動を知ろう

参加者 30人

今年はクリスマスリースづくりに挑戦。リースに杉やヒバを巻き付けるのに悪戦苦闘！ 素敵なクリスマスリースができました。



青年部だより

2024年度
山形ポリナビ
ワーク
ショップ



テーマ

夜勤に持っていきたくなる
お菓子を選ぼう!!



挨拶をする
飯野委員長

模擬
投票風景

プログラム

1. 青年部活動報告
2. 「国政報告」
参議院議員 友納理緒氏
3. ワークショップ

「模擬投票をしよう」



講師
友納理緒氏



委員の推し菓子を紹介



受付でチェック、投票用紙をもらいます



1番目の投票者は投票箱確認をします

どのお菓子に
投票しようかな？



開票の結果

| | | | | | |
|----|---|---|----|----|-----|
| | | | | | 無効票 |
| 正正 | 正 | 下 | 正正 | 正正 | 正 |
| 正 | 4 | 3 | 10 | 11 | 5 |
| 14 | | | | | |

カントリーマアムが
最高得票でした。

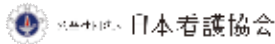


友納議員と参加者の皆さん



必見!! 2024年12月26日発

日本看護協会 ニュースリリース



2023年度
「ナースセンター登録データに基づく看護師の
求人・就職に関する分析」結果

訪問看護ステーションの
求人倍率が初めて4倍を超える

求職数：79,151人 全年代で減少傾向
希望施設：①診療所 ②小規模病院 ③中規模病院
重視事項：①勤務時間 ②給与 ③看護内容
就職者数：10,339人 就職率：13.1%
臨時雇用：42.6% 常勤雇用：6.8%

求人数：175,964人 求人倍率：2.22倍
施設別求人倍率：①訪問看護ステーション：4.18倍
②小規模病院：2.64倍 ③中規模病院：2.27倍

分析結果は、今後の人材確保活動をする上で、求職者の傾向等がわかり参考になります。ナースセンターは、医療職で看護職だけが持つ「公的制度」、看護職が意識的に活用することで成果が期待できます。

「報告書」は日本看護協会のホームページより、見ることができます。



〇2月4日(火) 17:45~18:15
日本看護連盟オンライン講演会NO.1

〇2月13日(木) PM
山形県看護協会との合同会議

〇2月17日(月)
石田まさひろ議員来県施設訪問(米沢・山形)

〇4月26日(土) 13:30~14:30
総決起大会(場所:山形県看護協会会館)

〇5月22日(木) 17:45~18:15
日本看護連盟オンライン講演会NO.2

〇6月28日(土) PM
通常総会・合同研修会(場所:山形県看護協会会館)

看護連盟
会員募集

看護連盟は看護協会が提言した政策を実現するために国政に看護職の代表を送る役割を担っています。

2024年度会員目標数

900人

2023年度会員数 885人

仲間と共に「現場の声」を国政に届け、環境や処遇の改善につなげよう!



年会費

| | |
|----------|-------------|
| 正会員・特別会員 | 8,000円 |
| 日本看護連盟 | 5,000円 |
| 山形県看護連盟 | 3,000円 |
| 看護職 賛助会員 | 二口 2,000円 |
| 一般 賛助会員 | 一口以上 1,000円 |
| 学生会員 | 無料 |

※賛助会員を看護職と一般に見直しました。
入会の申込手続きはいつでも受け付けます。
ご連絡お待ちしております。



連絡先：山形県看護連盟 TEL 023-633-8153

[RADIUM] ラジウム=低放射線ホルミス

健康の三大要素(運動・睡眠・食事)+α 健康維持製品当社オリジナル
プラスαはラジウムでスタート!



ラジウムネックレス&ブレスレット

低放射線ホルミス
ラジウムには微量の放射線を出す鉱物が含まれています。弱い放射線を微量受けることで細胞が刺激を受け、身体の細胞を活性化させ毛細血管が拡張、新陳代謝が向上し免疫力や自然治癒力を高めてくれるのです。

Grand Feather

グランドフェザー

資料請求は
こちらまで

〒940-0044 長岡市住吉1丁目5番17号
TEL 0258-33-3208 FAX 0258-33-3210

編集後記

今回、はじめて看護職国会議員の特集を掲載しましたがいかがでしたか。
今後も創意工夫をした紙面づくりに努めます。
今年もよろしくお祈りします。



山形県看護連盟機関紙

第62号

2025年1月31日発行

発行所/山形県看護連盟
〒990-0023 山形市松波4丁目1-39
明泉ビル2F
TEL 023-633-8153
FAX 023-633-8157

発行責任者/高橋啓子

印刷所/コロニー印刷(山形福祉工場)